



日本共産党 川崎 篤子 議員

臨界事故の教訓は生かされるのか  
原子力センター構想

議員 原子力センター構想とは何かという声が寄せられている。村

の役割はどうなるのか。

村長 本村は、国・県、

関係機関と地域社会間のコーディネーターとして構想をまとめ、指導的な役割を担っていく考えです。

議員 見えない、におわない、痛みも感じない原子力事故の重大な危険性を体験している私たちは、プルサーマル計画のように事業所の原子力安全宣伝が優先されないかと危惧を抱きます。「地域主権の考え方に立脚し」とは何か。村民にとつ

ての利益は何か。

村長 地域からの発想を原子力関係者に提言し能動的に働き掛けた

い。村民の利益は、①原子力関係者と共同で地域主体のまちづくり

ができる。②人材・施設・設備が集積する村を生かすまちづくり。③新しい多様な価値観を生み村の新たな発展につながる。④世界中から科学者、研究者が来る。⑤科学技術や外国の文化に触れる機会が増え、子供たちに誇りを与えることができ

ることです。

議員 原子力事故を隠したり、改ざんしたり、

報告漏れをしない、危険な設備はこれ以上造

らないことを踏まえた地域主権に立脚した提案を考えてほしい。本

構想には、JCO臨界

事故の教訓、また規制と推進機関を分離するという理念はどう生かされるのか。

村長 原子力の安全を

高めるには、地域社会、世界の原子力安全に貢献していくことを掲げ、教訓を生かす考え方を明確にしている。

規制機関の推進機関からの分離は、特別書

いてないが、重大事故に遭遇した東海村の村長として、これからも

訴え続けていきたい。

ヨウ素剤の  
各家庭配備を

議員 ヨウ素剤の各家

庭配備を願う声があります。配備状況はどう

か。また、事故が起きたとき、早い服用が効果的だが、避難所に医師がどれだけ早く配置

されるのか疑問です。

経済環境部長 ヨウ素

剤5万7000丸を、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校および

コミセン、「絆」に分散配備しています。災害時は避難所へ搬送し、

医療関係者の問診で予防的に服用。薬剤師が管理とあり、各家庭に

配備は考えていない。

議員 新潟県長岡市小国町は、各家庭にヨウ素剤を配備しています。

服用上の注意、取り扱い

管理保管など市民への周知を行い、現在まで誤飲や不適切な服用

による事故発生はないとのこと。家庭配備を

段階的に検討する時期にきているのではない

か。

経済環境部長 安定ヨウ素剤は、厚生労働省から劇薬指定を受け、

間違った投与方法、貯法をしてはならないとな

なっている今の段階では難しい。

議員 消防庁は、市町村が広域化しなくても

不利益扱いはいしなくとも

消防の広域化で  
10分以上に

明らかにし、消防署の

配置と数など各種基準を定めています。村は

現在、現場に駆けつけるのに10分以内ですが、

ひたちなか市との広域化で10分以上を要する

ようになり、非常に問題です。迅速な対応には、

村単独が望ましいかどうか。

消防長 村で消防機能を維持するには、財政

的、人力的にも厳しく、常陸那珂港もあり、単

独は難しい。

